

映画を観るように本を読む

趣味はなんですかと訊くと「映画を観ることです」と答える人はけっこういます。生まれてから一度も映画を観たことがない、なんて人はきつといないし(たとえ映画館に行ったことがないとしても)、どんなジャンルが好きなんですか? 好きな俳優さんはいますか? ロケ地に行ったことありますか? などなど初対面の人も会話が広がりやすい。何より訊いた本人が次の質問をし易いといった点で万人受けする答えだと言えます。もしここで「趣味は読書です」と答えを返されてしまうと、次に何を質問しようかと構えてしまう人も多いのではないのでしょうか。

本を読む習慣がない人は特に。

けれどちょっと待ってください。映画をじっと観ていられるのであれば、小説を読むことだってできるはずだと思うのです。架空の、もしくは史実・ノンフィクションの世界観に浸るという点において、映画も読書も同じではないでしょうか?

そこで映画は観るけど本は読まないという人におすすめしたいのが、好きな映画の原作小説を読むことです。『君の名は。』のように映画をそのままノベライズにしたものでも構いません。『ハリーポッター』のようなシリーズものなら映画で観た作品の原作はもちろん、続きを小説で読んでみるのもいいと思います。好きな映画は強く印象に残るものだし、何度もくり返し観るといっても多いはず。誰も一つは思い当たる作品があるのでは?

私の場合は何度もくり返し観るのとは少し違いますが、シリーズを通して何作品も見ているアニメ・映画があります。名前だけなら誰でも知っている、NHKでキャラクター特集が放映されたり、お台場に実寸大の模型が作られたりする日本を代表する(と個人的に思っている)アニメ、『ガンダム』です。ガンダムシリーズは戦争を題材にして国の在り方と人間の尊厳について描かれていて、戦闘シーンもたくさんあります。そんな戦闘シーンを文字で読んでおもしろいのかと思われるかもしれませんが、アニメを先に観ているからこそ、むしろ文字で読むのがおもしろいのです。キャラクターもモビルスーツも、慣れてくると音響も全てフルカラーの動画を見ているかのように頭の中で展開させながら読むことができますし、アニメでは伝わりきらなかった登場人物の心象や心情もじっくり理解して先にすすむことができるからです。

アニメを含め、映画を観るのが好きな人はきつと本は読むけど映画は観ない、という人よりもフィクションの世界観を想像することが得意なのではないのでしょうか。自分のお気に入りの映像作品を読んでみるところから読書を始めてみませんか?